令和 6 年 4 月

日本科学未来館イベント「こどもからみる不思議世界探求」
にご参加いただいた皆様へ

2024 年 3月 29–31 日に上記イベントにご参加いただき、誠にありがとうございました。約 100 名のお子さんとその保護者の方に参加協力をいただき、大変貴重なデータを得ることができました。心より感謝いたします。

ここでは須藤の担当した「誰がお友達かな？」というテーマの心理学実験について、基礎的なデータ解析が終わりましたので、参加された皆様全体の傾向について報告します。

研究実施者：須藤美織子（一橋大学）
E-mail: mioko.sudo@r.hit-u.ac.jp
研究統括者：山口真美（中央大学）

研究概要

皆様、どのような人と仲良くなりやすいですか。子どもも大人も、自分と共通点がある人を友達として好む傾向にあります。幼い頃から子どもが重要視する類似性の一つとして「性別の一致」があり、3歳から子どもが異性の子よりも同性の子に対して好意を抱いたり、優遇的な態度を取ることが明らかにされています。ご参加いただいた研究では、子どもが友達関係を築く上で「性別の一致」に着目する傾向を２つの課題で調べさせていただきました。

「誰がお友達かな？」というパソコン課題では、お子さんに3人の子どものイラストを見ていただき、中央の子が左右の同性の子か異性の子のどちらとお友達か推測していただく問題を繰り返し提示しました（図1）。各問題では、子どもの性別のみならず、それぞれの好みに関する情報も提示しました。中央の子の好みが同性の子と異性の子のどちらの好みとも一致している問題もあれば、中央の子の好みが異性の子の好みのみと一致している問題もありました。

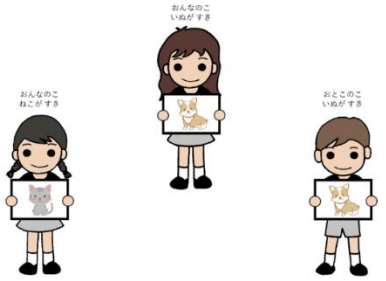

図1.「誰がお友達かな？」の問題例。

この課題では、他者の友達関係を推測する上で、子どもが「性別」という社会的カテゴリーと、「好み」という内面的な要素のどちらに基づいた類似性を重視するのか調べていました。また、子どもが好みの一致を重視する度合いが、その好みが「普通」であるか（多くの子どもが好きな「犬」が好きなど）、または「特殊」であるか（多くの子どもが苦手とする「蛇」が好きなど）で変わるのかを検討していました。

「スターブライト」というゲームでは、お子さんに8枚、もしくは9枚の星型のシールを、自分、同性の子、異性の子の3人の間で分配していただきました（図2）。この課題では、お子さんが同性の子を、異性の子よりも優遇して、貴重な資源を分配するのかを調べていました。また、公平に分配できない枚数（8枚）のシールを渡された場合と、公平に分配できる枚数（9枚）

図2.「スタープライト」のゲーム用紙。

のシールを渡された場合とで、子どもの分配の仕方が異なるかも検討していました。

お子さんが課題に取り組んでいる間、保護者様には「男女の役割の区別」と「他者の内面・外面に対する意識」に関する質問紙に記入していただきました。保護者様が家庭内の役割において男女を区別する傾向が弱く、かつ他者の内面的要素への意識が高いほど、お子さんが二つのゲームにおいて性別に注目する程度が低くなるのではないかという仮説を検証していました。

結果

「誰がお友達かな？」では、中央の子の好みが、同性の子と異性の子の両方の好みと一致している場合は、同性の子がお友達だと推測する傾向が見られました（図3）。しかし、中央の子が、異性の子とのみ好みが一致している場合は、性別の一致よりも好みの一致を重視して、異性の子がお友達だと推測する傾向が確認されました。この傾向は、一致している好みが「普通」な場合も、「特殊」な場合も、顕著に現れました。

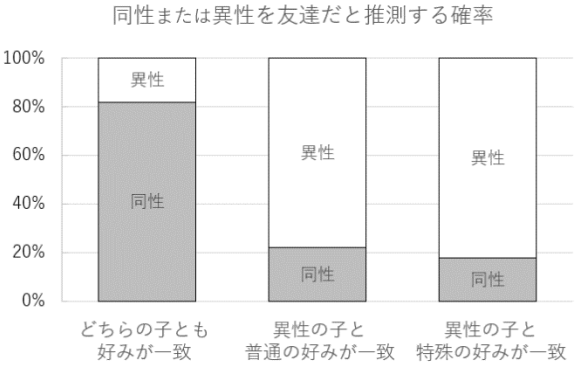

図3.「誰がお友達かな?」における回答の平均傾向。

「スタープライト」では、公平に分配できない枚数（8枚）のシールを渡された場合は、異性の子よりも、自分や同性の子に多くのシールを分配する傾向がありました（図4）。しかし、公平に分配できる枚数（9枚）のシールがある場合は、多くの子どもは、自分、同性の子、異性の子に3枚づつ、同じ枚数のシールを分配していました。

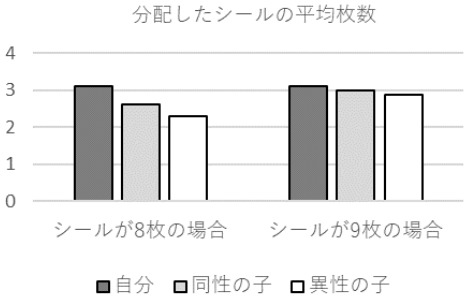

図4.「スタープライト」での分配の平均傾向。

お子さんが二つの課題において性別に注意を向ける度合いと保護者様の質問紙の回答の間に相関関係は認められませんでした。

本研究を通じて、子どもが必ずしも性別に関する情報に基づいて社会的な判断をするわけではないことが明らかになりました。具体的には、「誰がお友達かな？」では、性別の一致よりも好みの一致を重視する傾向が見られ、また「スタープライト」では、同性の子と異性の子に公平に接することが可能な状況であれば、そのように行動する傾向が見られました。本研究の結果を元に、子どもが自分とは一見異なるように見える相手とどのように友好的な関係を築けるのかをより深く検討していきたいと考えております。